みんなの

ちいきふくし

CHI-KI FUKUSHI SOJA CITY COUNCIL OF SOCIAL WELFARE

社協だより
vol.61
3
2020

CONTENTS

地域ニュース from 地区社協 …… 2
地域ニュース from 地区社協／やすらぎの家 … 3
生活支援体制整備事業／
　ボランティアセンター …… 4
松寿会／介護者の会／ふくしネットそうじゃ … 5
生活困窮支援センター／
　権利擁護センター“しえん” …… 6
ひきこもり支援センター …… 7
障がい支援 …… 8
復興支援センター …… 9
募金／表彰／車いすのレンタル …… 10

障がい福祉フォーラム

ハートフルそうじゃ ～ありがとうを伝えよう～

当日は約500人にご参加いただきました！

社会福祉法人 総社市社会福祉協議会

「すべての住民が、自分の住み慣れた地域で、自分らしく、生き生きと、豊かに暮らせるふれあい、助け合い、支え合いのある住民主体の福祉コミュニティの実現」

総社地区社協

「ぽっぽサロン」がスタートしました！

平成30年7月豪雨災害の体験を教訓として、私たちも他人事ではなく自分自身のこととして、真剣に考えることが必要と思いました。「今までのように地域の中にいても顔も名前も知らないようではいけない、いざという時に困ることになるだろう。また、一人暮らしの高齢者が増えている現在、日頃からとなり近所の声かけ、あいさつが出来るように」との願いから、この機を生かし湛井、浜町、山之端の三町内の会長、社会福祉協議会、民生委員、福祉委員が何度か相談した結果、サロンを立ち上げる運びになりました。昔、湛井まで汽車が走っていたことで、「ぽっぽサロン」と命名しました。

同じ地域で暮らすみんなが気軽に、自分の足で集える居場所へと月に一度、山之端公会堂へ100円持参し、楽しく過ごしています。ゲームをしたり、体を動かした後はティータイム。「中央小学校かるた」をした時は、とても盛り上がり、「家に居ると笑うこともないけど楽しかった」と笑顔で帰られるのを見て、お互いにふれあい、生きがいづくり、仲間づくりの輪が広がることを願っているところです。

まだスタートしたばかりで色々な情報をいただきながら、皆さんと共に協力し合って「ぽっぽサロン」を盛り上げています。継続するために終了後には、次回の予定を知らせ、来られていない方には、お誘いのチラシを作成し、全戸に回覧することで、一人でも多くの人に理解していただけるようにと努力しているところです。

いつかは人の力を借りる時があると思いますが、一日でも長く一人一人が健康でいられるように頑張っていきたいと思います。

神在地区社協

「暖簾（のれん）」できました！

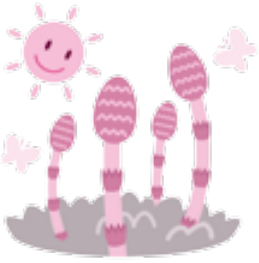
いずれは、「三世代の交流の場」を作りたい、何かしてみようじゃないか、ということで始まった「秋は集まろう会」。

そして、その時に何かシンボル的な存在が欲しい、とのことで作り始めた「暖簾」。

大きさは？色は？土台になる生地は？文字の大きさ？配置？飾り？・・・試行錯誤の後、ようやく「春は敬老会」、「秋は集まろう会」の2タイプが完成しました。

この暖簾が掛かっている日は、「あ～今日は開いとんじゃ。寄ってみようか」と思ってもらえる、そういう自然な交流の場が作れたら・・・という思いで作りました。

まだまだそこに辿り着くまでの道のりは平坦ではありませんが、みんなの向かう思いが一つになる象徴ともいえるこの暖簾。「せっかく作ったんだから！」と、気持ちの盛り上げにも一役買ってくれること間違いなしです！



山田地区社協

「あってはならない　もしも」に備えて

山田地区は高齢化率が40％を超え、一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯が増えています。

もしもの時、本人が慌てないで済むよう、また、周りの人の手助けになるようなシステムはないかと検討し、「救急安心キット事業」を導入することにしました。

緊急搬送、または避難の際、すぐに持ち出せるように最低限の情報を容器に入れ、どこの家にもあり比較的災害にも強い冷蔵庫に保管することにしました。

封入する情報としては、緊急時情報シート、保険証コピー、お薬説明書をベースにしています。75歳以上の独居者および高齢者世帯、その他小地域ケア会議で必要と判断された方を対象とし、現在50人程度の賛同者を得て、平成31年3月より開始しました。

実施するにあたり、対象者の選定、必要な情報などを一年かけて検討し、該当者への説明や了解を得て、実施の運びになりましたが、地区の有意性と福祉委員の多大の貢献に感謝です。

介護予防拠点施設
やすらぎの家

高齢者の介護予防のため、地域とのふれあいの中でいきいきとした活動をする場として設置されています。ふれあいサロンやいきいき百歳体操などの健康増進や地域の交流の場としてご利用いただけます。

開館時間：９時～16時30分まで
休　館　日：日曜日、祝祭日、年末年始
使　用　料：無料
（ただし部屋の使用については、事前に予約が必要です。）

管理ボランティア
募集中！

「家庭的な雰囲気で、誰もが自由に利用できる施設」をめざすため**「やすらぎの家」を管理していただけるボランティアを募集します。**

主な管理内容は、開館や閉館の準備、部屋の予約申請の受付、来館された方の対応などです。

日　時：午前の部（９時～13時）
午後の部（12時30分～16時30分）
※午前・午後のいずれか半日でお願いします。
活動費：500円（半日）
申　込：ご協力いただける方は、お申し出ください。
【お問い合わせ】
◆地域福祉課（地域福祉係）
◆TEL：（0866）92-8552　FAX：（0866）94-0089

介護予防のためのワークショップ in そうじゃを開催しました

令和元年 12 月 13 日（金）に「介護予防のためのワークショップ in そうじゃ」を総合福祉センターで開催しました。

当日は、地域づくりに関心のある方など 46 人が参加し、津山市地域包括支援センターから認知症の人が役割を持って活躍している「注文をまちがえるかもしれないレストラン」の取り組みと備前市三石いきいき付添サポート隊による「通いの場に自力参加できない方への通所付添活動」について実践発表がありました。

後半のグループ討議では、県内で活動されているＮＰＯ法人のスタッフにファシリテーターを務めていただき、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため、何ができるかを話し合った後、グループごとに「私たちは今日から積極的に声かけ、地域活動に参加し、つながりを大切にします」、「私たちは今日から生きがいづくりの場をつくることを目指します」など、行動宣言しました。

参加者からは「とても充実したワークショップだった」、「良い雰囲気で思ったことを素直に出せて良かった」、「何か１つでも役に立つことを見つけたい」との感想がありました。

「総社がめざすボランティアセンターを考える」研修会について

令和元年 11 月９日（土）に関係機関や地域の方と今後のボランティアセンターのあり方を考えることを目的に、研修会を開催し 50 人にご参加いただきました。

講師には、日本福祉大学　副学長　原田　正樹　氏をお招きし、「社協に求められるボランティアセンター」についてご講演をいただきました。

基調講演後には、参加者でグループワークを実施しました。

【基調講演】

原田　正樹　氏

【グループワークの様子】

～みなさんからのお声～

①ボランティアのイメージ
- 本来のボランティアと一般的に知られているボランティアのギャップがある
- 一生懸命やるけど、やる方と受け取る方のとらえ方にギャップがある
- 自由意志でするもの
- 敷居が高い
- 楽しい、幸せを感じる

②ボランティア活動に取り組むうえでの課題
- ギャップを埋める必要がある
- ボランティアに参加する機会をより多く作っていく
- ボランティアの体験のプログラムの組み立て方
- 活動に踏み出すきっかけが必要
- 日常的なつながりづくりが重要（横のつながり）

入会のご案内

総社市松寿会

65 歳以上で、ひとり暮らしをされている方、私たちと一緒に楽しい活動をしてみませんか？

主な活動は、交流会（七夕会･クリスマス会･節分交流会）や移動研修会などです。これらの活動を通じて、多くの人々との親睦を深めています。

総社介護者の会

一緒に活動してみませんか！！

介護者の会は、寝たきりや身体に障がいのある高齢者等を介護している方を対象に、介護者間での交流を図り、介護の「孤立防止」や「リフレッシュ」していただくことを目的とした団体です。

会員は随時募集しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

入会方法は、申込用紙に年会費 1,000 円を添えて、事務局までお申し込みください。

【お問い合わせ】
◆地域福祉課（地域福祉係）「総社市松寿会」、「総社市介護者の会」
◆ TEL：(0866) 92-8552　FAX：(0866) 94-0089
◆時間：8時 30 分～ 17 時 15 分（土・日・祝、年末年始を除く）

社会福祉法人社会貢献活動推進協議会
愛称：ふくしネットそうじゃ

「ふくしネットそうじゃ」ってなに？

「ふくしネットそうじゃ」は総社市内に拠点のある社会福祉法人から結成された団体で、平成 29 年 7 月 1 日に設立しました！（事務局：総社市社協）

各社会福祉法人の専門性やネットワークを活かし、力を合わせて「地域における公益的な取り組み」を実施しています。

①くらし応援事業
フードドライブを実施し、生活困窮者支援やこどもの貧困対策等に協力する

②しごと応援事業
ひきこもりの方等にボランティアや就労等を体験する場として、福祉施設等で受け入れる

③安心すまい応援事業
DV 等の緊急避難先や生活困窮者等の一時的な生活の場として受け入れる

④子育て応援事業
子どもの育ちや学びを応援するとともに、子育てに悩む親の相談・研修等を実施する

⑤新たな取組み応援事業
市内で先駆的かつ公益的な取組で、公的助成が見込めない団体に対し、経費の一部を助成する

加入法人一覧（事業所名称）
あのね保育園、吉備路の会、吉備のくに福祉会、金曜会、クムレ、経山会、新生寿会、進和福祉会、スキーム福祉の会、すずらん保育園、雪舟福祉会、千寿福祉会、総社市社会福祉協議会、総社市社会福祉事業団、総社福祉会、超寿会、真美会、ももぞの学園、梁善会、（順不同・敬称略）

フードドライブへのご協力ありがとうございました。
650個（171kg）の食料品が集まりました！！

令和２年２月１日（土）に今年度第２回フードドライブを実施しました。
個人、法人合わせて 22 の皆様からご寄付いただきました！
皆さまからご寄付いただいた食料品は生活困窮支援センターを通じて、生活困窮者支援、地域のこども食堂などへ提供させていただきます。
ご協力ありがとうございました！

食料品のご寄付は随時、生活困窮支援センターで受け付けています！

連載　第24回

「お墓やお仏壇は、誰のもの？」

総社市権利擁護センター
“しえん”

弁護士　小田　弘昭

相続の際、被相続人の遺言があり「すべての財産は長男Ａに相続させる。」と書かれていれば、「お墓」や「お仏壇」などの権利も当然に長男Ａさんのものとなるのでしょうか。

法律上、お墓やお仏壇などの権利に関しては、遺産相続（民法 896 条）とは区別して規定されており、祭祀財産としてその承継方法が定められています（民法 897 条　※）。

そのため、冒頭の遺言は、形式的には祭祀財産の「承継」までは含まないようにも読めるので、それだけでは当然に祭祀財産の承継まで含むかどうかは明らかではありません。

したがって、遺言でお墓などの管理を任せる者を決めておきたい場合は、遺言書に「遺言者は、遺言者及び祖先の祭祀を主宰すべき者として長男Ａを指定する。」などと明確に記載することが必要です。なお、遺言で指定がない場合は慣習に従い、慣習が不明なときは家庭裁判所が祭祀主催者を審判で定めることになります。

相続手続に関して分からないことがあれば、弁護士等の専門家にお気軽にご相談ください。

※【民法 897 条の条文】
第 897 条（祭祀に関する権利の承継）
1　系譜、祭具及び墳墓の所有権は、前条の規定にかかわらず、慣習に従って祖先の祭祀を主宰すべき者が承継する。ただし、被相続人の指定に従って祖先の祭祀を主宰すべき者があるときは、その者が承継する。
2　前項本文の場合において慣習が明らかでないときは、同項の権利を承継すべき者は、家庭裁判所が定める。

「系譜」とは家系図や過去帳、「祭具」とは仏壇・仏具・位牌、神棚、「墳墓」とはお墓など（墓石の所有権のほか、墓地使用権も含む。）のことで、これらに関する権利をまとめて「祭祀財産」といいます。なお、遺体や遺骨については、祭祀主催者を所有者とした判例があります。

ひきこもりサポーター養成講座を開催しました

今年度も全５回のひきこもりサポーター養成講座を開催しました。養成講座受講後、新しくサポーター登録をしていただいた方も含めて、昨年 12 月に定例ミーティングと懇親会をしました。定例ミーティングでは自己紹介後、居場所「ワンタッチ」での活動について話し合い、懇親会では美味しい食事を食べながら交流を深めました。

来年度もサポーター養成講座を開催する予定ですので、興味のある方は、是非ご参加ください！

岡山県立大学
准教授　周防 美智子 氏

ひきこもりサポーター「ほっとも」の活動

卓球大会

井原市社会福祉協議会の ひきこもりサポーターと交流研修会

ハートフルそうじゃで 手作りおにぎり販売！

夜の居場所「日陰の集い」

毎月最終金曜日の 18 時 30 分～ 20 時 30 分で「日陰の集い」を開催しています。若者を中心にアニメ・漫画の話やゲームをして楽しんでいます。昨年 12 月はクリスマス会をしました。みんなでホットケーキを作って食べたり、リズムゲームをして盛り上がりました。

平日 15 時～ 17 時には、昼の居場所を開所しております。興味がありましたらご連絡ください！

家族会で日帰り旅行に行きました

家族会「ほっとタッチの会」で日生に行ってきました。日生と言えばカキオコ！みんなで美味しくいただきました。その後、展望台で秋晴れの瀬戸内海の景色をみて、市場でお土産を買って帰りました。

いつもの家族会とは、また違った空気で楽しい１日となりました。

家族会「ほっとタッチの会」 に入会希望の方はご連絡ください！

【お問い合わせ】
◆ひきこもり支援センター「ワンタッチ」
◆ TEL：(0866)92-8597　FAX：(0866)92-8284
◆ E-mail：soudan@sojasyakyo.or.jp
◆時間：8 時 30 分～ 17 時 15 分（土・日・祝・年末年始を除く）

障がい者就労支援セミナー2019 in そうじゃ

令和元年11月30日（土）に、障がい者就労支援セミナー2019inそうじゃを開催しました。当日は、企業・支援者・当事者・家族等、様々な立場の方がご参加くださいました。

このセミナーでは、精神障がいのある方などが、長く働き続けるための定着支援をテーマに、支援者、企業、ハローワークの方からご講話いただきました。

まず、一般社団法人SP・iS（エスピス）研究所の宇田亮一理事長から、社内のコミュニケーションを促進するweb日報ツール、「SPiS」を用いた支援方法や、精神障がいのある方が働き続けるために大切なことをお話しいただきました。ハローワーク総社出張所の石原祥雅所長からは、障がいのある方の長所や配慮事項をまとめる就労パスポートなどについてご紹介いただきました。

障がい者千五百人雇用センターからは、当事者や企業、行政、支援機関等がチームとなって障がい者雇用に取り組む重要性について説明しました。

最後に、株式会社ベネッセビジネスメイトの川上奈津江氏から、企業内での環境配慮や、障がいのある社員の心身の状態を把握する日報を用いた定着支援等について実際の取り組みをご紹介いただきました。

来場者からは、「SP・iSのエッセンスを活かして支援していきたい」「企業での取り組みがとても参考になった」「就労パスポートについてもっと知りたい」等、ご好評いただきました。

来年度も、引き続き障がい者就労支援セミナーを開催する予定です。

令和元年12月7日（土）　障がい福祉フォーラム

ハートフルそうじゃ～ありがとうを伝えよう～

毎年、12月3日から9日までの障害者週間にあわせて総社市地域自立支援協議会が開催する、障がい福祉フォーラム「ハートフルそうじゃ」は、今年度で10周年をむかえました。今年は、10周年を記念し、身近な人への「ありがとう」を伝える動画を上映し、参加型ライブペインティングでひとつの絵を完成させました。その他にも、手話・要約筆記・点訳の体験や福祉事業所の野菜等を使ったコラボごはん（豚汁）の提供、福祉事業所による販売、プレイゾーン、ワークショップ、演奏等様々なブースで障がいのある方も無い方も一緒になって楽しい時間を過ごしました。また、スタンプラリーの景品に、障がいのある方が描いたイラストを表紙にしたメモ帳を作成しました。

当日は、500人を超える方にご参加いただき、大盛況に終わりました。

総社市地域自立支援協議会では、これからも、障がいのある方が地域の中で活き活きと暮らせるように、障がいへの周知啓発を行っていきます。

被災者見守り・相談支援
総社市復興支援センター

市内各所で居場所が開設されています
～ほっとカフェinコープ～

復興支援センターでは、地域の方々や、被災地の復興を応援くださる方々と一緒に、被災された方の居場所を開設しています。

ほっとカフェinコープは、平成30年7月豪雨で被災された方を対象に、コープ総社東店2階（総社市総社1370－3）で1～2カ月ごとに開催しています。カフェコーナー、情報コーナー、リラクゼーションコーナー（鍼灸）、子ども遊びコーナーを設置しています。ゆっくりおしゃべりをしながら、情報交換ができます。時間内出入り自由、申込不要ですのでお気軽にお立ちよりください。

□次回開催日時
2月28日（金）10時～15時
3月22日（日）10時～15時
□開催場所
コープ総社東店
（総社市総社1370－3）

岡山コープ備北エリア、岡山NPOセンター、倉敷市社会福祉協議会の方々と一緒にお待ちしています。

復興支援センターでは、その他の居場所情報や、復興支援の情報などを提供しています。

生活支援相談員が見守り訪問やお電話でお伺いをさせていただいています。お気軽にご連絡ください。（☎92－8575）

令和元年度　いきいきシニア総社
復興応援事業を開催しました

いきいきシニア総社（総社市老人クラブ連合会）では、平成30年7月豪雨災害で被災された方が、スポーツを通じて元気になっていただくことを目的に、復興応援事業として、「グラウンドゴルフ大会」と「ペタンク大会」を開催しました。

それぞれの開催日には、被災地からも多数のご参加をいただき、笑顔あふれる元気で楽しい大会となりました。

今後も、いきいきシニア総社の活動から被災地に元気を届けたいと思います。

総社市社会福祉協議会のホームページで情報発信中～

本会のホームページでは、地域で行われている活動報告や研修会などのご案内、福祉の相談窓口についての情報を更新しています。

最新の情報は、ホームページやSNS（フェイスブック・ツイッター）をご覧ください。

総社市社会福祉協議会　検索

赤い羽根共同募金運動・地域歳末たすけあい募金運動

～ご協力ありがとうございました～

赤い羽根共同募金は、令和元年 10 月 1 日（火）から 12 月 31 日（火）、
地域歳末たすけあい募金 は、令和元年 12 月 1 日（日）から 12 月 31 日（火）、
期間中、皆さまからのあたたかいご協力をいただき、ありがとうございました。

ご協力いただきました募金は、市内の地域福祉活動をはじめ、福祉施設の備品整備などに活用されています。**「じぶんの町を良くするしくみ」**
今後とも、赤い羽根共同募金にご理解とご協力をよろしくお願いします。

常盤地区社協「救命救急訓練」

◆令和元年度
全国社会福祉大会表彰
【受賞者】
◎全国社会福祉協議会会長表彰
（社会福祉施設功労）
古城　眞由美
延原　良純
（社協・団体功労）
小林　典子
◎中央共同募金会会長表彰
（奉仕団体）
久代地区社会福祉協議会
（敬称略）

多年にわたり功労のあった
方々が表彰されました。
心からお祝い申し上げます。

～車いす～ レンタルしています

総社市に居住されている方で、障がいや病気のために、一時的に車いすが必要な方に貸し出しています。

・おじいちゃんが泊まりにくる間の車いすが必要
・旅行に行くのに、１週間ほど使いたい
・足を怪我して歩けなくなったため良くなるまで借りたい
・介護保険で手続きをしている間のつなぎとして借りたい　など

利用料　500 円　　**利用期限は、原則１か月です。**

●ご希望の方は、印鑑をご持参のうえ事業所に備え付けの申込用紙にてお申込みください。

【お問い合わせ】
◆ 在宅福祉課
◆ TEL：(0866)92-8560　FAX：(0866) 93-7752
◆ 時間：９時～ 17 時（土・日・祝・年末年始を除く）

あなたの心 活かします

皆さまのお気持ち ありがとうございます。

※ご了承をいただいた方についてのみ、紙面上に寄付金額を掲載させていただいております。

種　別	金　額	寄　付　者	住　所
香典返し	30,000 円	門田千代子　亡父（荒木達己）	真壁
歳末たすけあい	もち米	國府　浩富	総社
	50,000 円	角田　悦男	窪木
	79,425 円	総社市仏教会	
篤志品	米 300kg	瑞泉院　高原妙泉	岡山市中区平井
	米 60kg	フード・シェアリング・ジャパン　成田賢一	加賀郡吉備中央町上野

下記については、金額の多寡にかかわらずご希望により寄付金額は掲載しておりません。

寄　付　者		住所	寄　付　者		住所	寄　付　者		住所
▽香典返し								
明石　崇宏	亡父（康宏）	下原	藤井　英治	亡母（伊佐子）	清音軽部	佐野　清文	亡父（弘）	井尻野
長江美智恵	亡夫（幸久）	総社３丁目	金池美都子	亡夫（徹）	真壁	風早　昭正	亡母（政子）	地頭片山
石井　理恵	亡夫（宏昌）	泉	赤木　武士	亡母（幸子）	久代	風早　庸生	亡父（春雄）	地頭片山
中田サカエ	亡母(小野近江)	清音柿木	栢野　修二	亡父（澄治）	真壁	笹田　桂子	亡母（智恵）	総社２丁目
西宇　哲司	亡父（勉）	中央１丁目	井口　三郎	亡父（照堯）	影	麻生　義光	亡妻（久枝）	中原
岡　光明	亡母（敦子）	三須	小野　雅志	亡父（祐一）	岡谷	白神　基生	亡父（昇）	久代
糸島　健治	亡母（益子）	秦	泉　幸子	亡夫（譲）	駅南２丁目	内田　正志	亡母（清野）	三須
片岡　忠義	亡父（武夫）	真壁	秋山　誠	亡母（富美子）	下倉	浅野　忠義	亡父（忠志）	久代
栢野雄喜人	亡母（政子）	久米	渡辺　繁子	亡弟(長田喜代志)	美袋	山本　文男	亡妻（外茂子）	美袋
藤田　勝	亡父（義夫）	種井	横田　肇	亡父（米雄）	槙谷	風早　俊昭	亡母（登美子）	地頭片山
小池マスヱ	亡夫（馨）	東阿曽	金澤　隆	亡母（緑）	山田	山下　弘子	亡夫（成美）	刑部
服部　修	亡父（莞爾）	奥坂	堀　浩敏	亡父（信久）	総社３丁目			
服部　信子	亡夫（勝雄）	総社	福光　瀧子	亡夫（映爾）	清音柿木			

（令和元年 10 月 21 日から令和２年１月 20 日まで　敬称略）

～車両の寄贈～

このたび、**「吉備信用金庫」様** から創立 70 周年記念事業の一環として、本会に車両をご寄贈いただきました。

吉備信用金庫様 寄贈

令和２年２月 12 日（水）、総合福祉センター正面玄関前にて車両贈呈式を執り行いました。
今後の地域福祉活動に活用させていただきます。
ご支援をありがとうございました。

みんなのちいきふくし

社協だより
vol.61
3
2020

Chi-ki Fukushi
Soja City
Council of
Social welfare

ハートフルそうじゃ
～ありがとうを伝えよう～

令和元年 12 月７日（土）に、「ハートフルそうじゃ～ありがとうを伝えよう～」を開催しました！

当日は、約 500 人の方にご来場いただき、大盛況でした。

ハートフルそうじゃは、「赤い羽根共同募金」の支援を受けています。皆さまのあたたかいご支援で、笑顔で楽しく開催することができました。本当にありがとうございました。

（8 ページに関連記事）

メイン企画の「ハートフルペインティング」。ハートフルそうじゃ 10 周年を記念して、来場者の皆さまとひとつの作品を創りあげました。

わたがし作りに挑戦！

オセロ名人連勝中！

皆で楽しくチュッピー体操♪

作：アートユニット SHISOJIN/ ハートフルそうじゃ来場者

毎年 4/2 は
世界自閉症啓発デー

４月２日は国連で定められた「世界自閉症啓発デー」です。また、日本では４月２日～８日を「発達障害啓発週間」としています。この週間に合わせて、備中国分寺が啓発カラーの青色にライトアップされます。期間中、市役所１階ロビーでは当事者によるアート展を予定しています。ぜひ、お立ち寄りください。

「みんなのちいきふくし」は、赤い羽根共同募金配分金の一部を利用して発行しています。　この広報誌は再生紙を使用しています。

編集発行／社会福祉法人 総社市社会福祉協議会
〒七一九-一一三一 岡山県総社市中央一-一-三 総社市総合福祉センター内
TEL：〇八六六-九二-八五五五 メール：info@sojasyakyo.or.jp
FAX：〇八六六-九四-〇〇八九 ウェブ：http://www.sojasyakyo.or.jp